

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

第一貨物株式会社

山形市にある第一貨物株式会社の小島さん取材しました！

小島さんは、山形大学人文学部を卒業した後、2017年に入社しました。

現在は、人事部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私は現在、社員の福利厚生をメインに担当しています。具体的には、新入社員の制服の手配、現場で安全に作業をするための安全靴やヘルメットの発注などを行っています。あとは、当社は自動車保険の代理店でもありますので、社員の自動車保険の手続きなどもしています。



——業務で使う資格は何かお持ちですか？

自動車保険の業務をするにあたって損害保険募集人の資格を取りました。自動車保険と火災保険も含めたその資格と、あとは衛生管理者の資格も取りました。衛生管理者は健康診断に関わることや、職場の安全のためのものです。業務に必要な知識を勉強させてもらいました。資格取得にあたっては、会社がテキスト代や受験料を出してくれます。

——お仕事でやりがいを感じるのはどんなときですか？

私の仕事は社員のサポートがメインになりますが、かげながら社員を支えることで、お客様への貢献につながっていることを考えると、それがやりがいだと思います。

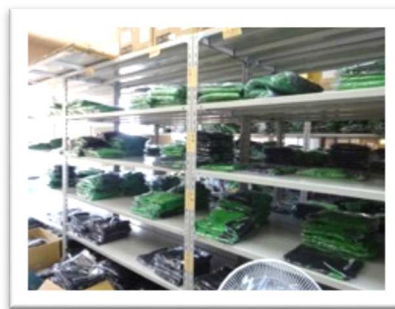
——入社してよかったと感じるところはありますか？

良かったことは、周囲の方々にすごく恵まれていることです。まず入社したときに指導係になってくれた先輩がすごく優しい方で、仕事のことはもちろん、社会人としての基本を教えてくださいました。細かなことですが、「こういうときは上司に一声かけた方がいいよ」とかですね。他部署の先輩からのご飯や飲み会に誘っていただくことが多くて、人間関係にはすごく恵まれていると感じます。

上司の方も、ここがダメだと言う時はちゃんと教えてくれます。理不尽な叱責みたいなものは全然ないですし、わからないところは教えてくれますので、すごくいいところだなと感じます。

——逆に大変だったことはありますか？

一日で完結する仕事あまりなくて、何回か打ち合わせをしながらこなしていく仕事が多いですね。日毎に区切って終われば毎日スッキリした気持ちで帰れますが、「明日もあれをやらなきゃ」とか「来週また打ち合わせてから」とかが多いので、ちょっと大変ですね。



——小島さんが思う第一貨物の押しポイントはなんですか？

人間関係のストレスがなく働けているところはありがたいですし、押しポイントです。最近いろいろなハラスメントをよく耳にしますが、そういうこととは無縁に生きています。

人事担当鈴木さん：社風なのかなと思いますが、よく「アットホームだね」と言われますね。まあ、中で勤めているとなかなか感じにくいのですが、新入社員とか中途で採用した社員からは、風通しがいいとか、ものが言いやすい雰囲気だとか言われることが多いです。

——福利厚生制度では押しポイントがありますか？

福利厚生は結構しっかりしていると思います。年末年始もしっかり休めますし、夏期休暇もありますし、ゴールデンウィークはもちろん祝日は休みです。長いと1週間以上休めますね。有給休暇もちゃんと取得しようという雰囲気がありますので、すごくいいと思います。私は実家に住んでいるので恩恵を受けていませんが、社宅がすごく安く住めるのもいいですね。

(2) 職場編

——第一貨物を知ったのはいつですか？

私はずっと山形市内に住んでいたのですが、テレビCMも見ていましたし、町中で走っているトラックもよく見ていましたので、会社自体は知っていました。深く知ったのは、合同企業説明会の時ですね。

——就職活動では、どのようなことを軸にしていましたか？

私は業種ではなくて、職種で絞って考えていました。事務とか総務がやりたいなと思っていました。あとは会社の雰囲気や、採用担当の方の雰囲気をメインに見ていました。仕事となると、月曜から金曜、そして8時から6時までと結構な時間を費やすことになりますので、やりたいことももちろんですが、その環境や雰囲気に自分が合うかどうか結構大事だと思っていました。



——会社の雰囲気はどういうところで見ただけですか？

合同企業説明会にはいろいろな会社が集まって小さなブースで説明をしていますが、そこでちょっといいなと思った会社でも、実際に個別説明会に行くと思っていた感じと違うというパターンもたまにあります。ですので、「会社見学の希望があれば連絡をください」という会社があれば積極的にそういう機会を利用して、実際に雰囲気を感じてみるようにしました。

——第一貨物を選んだきっかけは何だったのですか？

やっぱり雰囲気ですね。皆さんも会話していて「この人と合うな」とか直感で感じることもあると思いますが、会社説明会に出てみてそういう直感がありました。実際に入社してみて、その直感は間違っていなかったと4年経った今も思っています。

——**第一貨物の雰囲気は、言葉に表しにくいとは思いますが、どういう感じなんですか？**

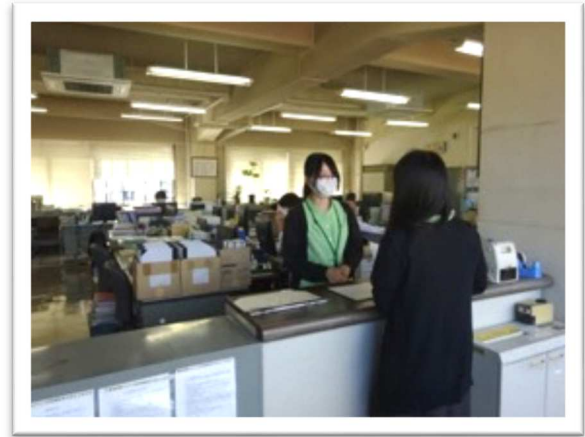
私の場合だと、体育会系というか「ガツガツいこうぜ」という雰囲気はあまり自分に合わないと思っていたのですが、当社はどちらかというと、一応穏やかな人が多くて、人あたりが良さそうなふんわりした感じの雰囲気です。

——**勝手なイメージですが、物流会社だと男性らしいイメージがありますが、そのあたりはいかがでしょうか。**

私も入社する前は、女性が少ないということで正直不安を感じていました。ですが入ってみたら、私が本社保属ということもあるかもしれませんが、結構女性が多かったんです。私が所属している人事課は女性と男性の比率が半々くらいですし、働きづらさを感じたこともないです。

体育会系で「荷物持つぜ」みたいな兄ちゃんがたくさんいるというイメージがあったので、いい意味でギャップがあったと思います（笑）。

穏やかな人が多くて、分からないこともすごく優しく教えてくださいます。



——**現場の配属になる可能性もあるんですか？**

可能性はあります。当社だと北は北海道、西は兵庫まで事業所がありますので、全国転勤があります。もちろんその覚悟はしていたのですが、正直に言って地元の山形配属になるとは思っていませんでした。山形出身で本社に配属になる人は結構レアなようです。

——**転勤はちょっと大変だなと思うことはないですか？**

やっぱり転勤は結構不安がありました。ずっと山形市で育ってきて、大学も山形大だったので。蓋を開けてみたら山形配属だったので、結局転勤は経験していませんが。ですが、今はいろいろな方を見ていると、いろいろな環境でいろいろな仕事をするのも、自分のスキルアップには大事なことなのかなと思いますね。

人事担当鈴木さん：当社には安心して働ける制度として、雇用タイプ選択制度があります。入社して3年たつと、雇用タイプを選べるようになります。「総合職」だと全国転勤、「準総合職」は隣接する県まで、「地域職」だと自宅から50キロ以内の事業所に配属になります。

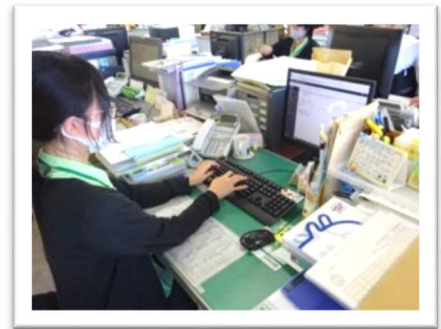
雇用タイプは3年ごとに変更できて、結婚や子育てなどライフステージに変化があったときでも、ベストな状態が選べます。例えば、お子さんが大きくなったときには雇用タイプを変更して、キャリアアップを目指すことも可能です。

(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出社】

制服に着替え、全員で体操をします。

その後、人事部内で朝礼を行い、その日の会議予定・来客予定等を全員で共有します。



●8:45 【業務開始】

まず初めにメールチェックをします。

その後、その日にやらなければならないことを整理し、優先度の高いものから手を付けていきます。電話対応も随時行っています。



●12:00 【お昼休憩】

持参したお弁当を自分のデスクで食べる人が多いです。

PCでニュースを見たり、その日のテレビ番組をチェックしたりしています。

食事の後は、休憩室でお昼寝をします。



●13:30 【午後の部開始】

午前中に引き続き、デスクワーク&電話対応を行います。

自動車保険の手続きや、会議資料の作成等を行っています。

●15:00 【倉庫で作業】

中途入社の方の制服発送作業や、各支店から返却された制服の管理等を行います。



●18:15 【退勤】

退勤後は自宅でのんびり過ごすことが多いです。

コロナ前ですと、先輩方に飲みに誘っていただくこともしばしばありました。

(4) むらやまでの暮らし編

——山形県内に残りたいと思った理由はあるのですか？

もしかしたら配属で県外に出ていたかもしれないので、絶対に山形県が良いという気持ちがあったわけではありません。

結果として山形に残ることになって良かったと思うのは、やっぱり家族と一緒に住んでいることです。不安なことがあったらすぐ相談できる環境はいいなと思いますし、大学の同期で山形に残った人もいて、気軽に会える距離に友人がいるのはすごくありがたいと思います。



——小島さんが思う山形のいいところはなんですか？

山形のいいところは、まずは空気と水と食べ物が美味しいところですね。水は買ったことがないですし、ごはんもおいしい。都会に比べて無いものもいっぱいあると思いますが、暮らしていくうえでは住みやすい、体に優しいところかなと思います。

——お休みの日は何をしてお過ごししていますか？

もともとインドア派なので、休みのたびにどこか出かけるタイプではないです。大学時代の友達とごはんに行ったり、本屋さんに行ったり。

——ご飯を食べに行くところでお勧めはありますか？

ラーメンは美味しいですよ。県庁の近くにあった「めんこいや」のラーメンがすごく好きでしたね。でも、山形では基本的にどこに行っても何を食べても美味しいなあという感じがありますよね。好きな食べ物で考えたら、やっぱり河原で芋煮がいいですね。お店で食べる芋煮よりやっぱりみんなで作る芋煮は美味しいですね。

——コロナ禍の前は、芋煮会はしていましたか？

以前は会社でもしていました。みんなで材料やお酒を買うところから。偉い人は先にお酒を開けて漬物を食べたりとかして、のんびり座ってるんですけど(笑)。女性陣を中心に芋煮を作ったりしていました。お子さんを連れてくる方もいましたね。



(5) まとめ編

——私はこれから就職活動なのですが、これをしておいてよかったなということはありませんか？

私はあまり模範的な就活生ではなかったですが(笑)。最初は何をしたらいいか分からなくて、不安が大きかったですね。意識が高い人はインターンシップに参加したりしていて、そういう話を聞いて焦っていました。



大学の就職課でセミナーを主催しているので、まずはそこに参加してみることが私の第一歩でした。そこで自己分析のしかたやエントリーシートの書き方、面接対策とかいろいろ教えてもらいました。まずは大学で提供している就活の場に参加することで最初の足がかりができました。

あとは先ほども言いましたが、もし対面で会えるチャンスがあるなら、ぜひ会社に行って現在の話を聞いたり実際の雰囲気を感じたりしてください。パソコンだけだとわからないこともあると思いますので、そういう機会は活用するといいと思います。頑張ってください。

——ありがとうございました！

自分にとって中学・大学の先輩が、身近な企業で活躍されていることが分かり、うれしくなりました。インタビューでは第一貨物のアットホームな雰囲気が伝わってきました。また、社員が働きやすくなる福利厚生制度や教育制度が整っていて、人を育てて大事にする意識が制度面からもきちんとサポートされていることが印象的でした。



【インタビュアー：

人文社会科学部 小笠原彩聖、理学部 奥谷友里加】

第一貨物株式会社

- ・所在地 山形市諏訪町 2 丁目 1-20
- ・設立 昭和 16 年 3 月
- ・従業員数 4,385 名
- ・URL <https://www.daiichi-kamotsu.co.jp/>

